

校内でこんな言葉が 飛び交うといいね！！



応援するよ ありがとう やさしいね
大好き おもしろいね かわいい
頭いいね 天才 ステキ 幸せ
物知りだね 上手だね

ある日、中央階段を2階に上がると保健委員会のポスターに気づきました。「校内でこんな言葉が飛び交うといいね！！」は、本当にそうです。柔らかくて、心がホッとする言葉。相手のことを思いやって感謝したり、褒めたり、尊重したりする言葉は、心をなごませてくれます。まさに、心の健康ですね。私は、気づいてからこのポスターを見るたびに、元気をもらっています。

お互いに尊重し、認め合うことで、「いじめ」は起こりません。差別も起こりません。そして、世界が平和な世の中になるはず。1枚の心温まるポスター。小さなことかもしれませんが、小さなことの積み重ねが、きっと、平和な社会を創り出していくと思います。



3月22日、学校の桜が咲きました

2年生のスポーツ大会 ～全員リレー・大縄跳び～

3月17日（木）の6時間目。素晴らしい晴天のもとで2年生のスポーツ大会が行われました。明るい日差しのグラウンドで、2年生の歓声が響いていました。この日は、延期していた職場体験学習の日でした。新型コロナウイルス感染症の拡大でそれは叶いませんでしたが、一方で、皆で共に活動できたことがとても良かったです。4月になれば3年生です。将来の進路に向けて、みんなでジャンプしてください。修学旅行は、予定通りに行けることを祈りましょう。



令和三年度 卒業証書授与式 「式辞」

「山笑う」季節。日増しに寒さが緩み、本校の桜の木々の小さな芽も膨らみ始め、春の訪れを感じるこのよき日に、「第七五回 卒業証書授与式」を挙行できますこと、この上ない喜びを感じる次第です。

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。人生の歩みを進める中で、著しい成長を遂げるお子さまが、晴れやかに卒業の日を迎えられましたこと、感慨深き思いでおられることと存じます。平素より、本校の教育活動に多大なご支援、ご協力、ご理解を賜りましたこと、全教職員になり代わりまして、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、第七五期生の三年生諸君、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。新型コロナウイルスが変異を繰り返して、感染が世界中に拡大し、私たちは、予期せぬ事態に戸惑いながらの生活を余儀なくされています。本校においても、学校生活や学校行事において様々な制約を受けてきました。活動の中止を余儀なくされた場面もありました。そのような日々の不安の中においても、学校中のみんなで知恵を絞り、協力して、限られた範囲の中ではありましたが、精一杯力を尽くしてやりきってきました。

悔しさを感じながらも、形はどうであれ、あきらめずに何としても「やるんだ!」という三年生の皆さんの強い思いは、一中の大きな原動力となっていました。修学旅行は、六月から七月・九月・十月と四たび日程を変更し、行き先まで変更して実施しました。苦しみながらもやりきった達成感は、言葉では言い表すことのできないものであったことでしょう。運動会も文化祭も合唱コンクールも、やりきっていましたね。そのような中でも、できたことの喜び以上に仲間や後輩、周りの人々への「感謝」の気持ちを常に述べていたことは、「さすが三年生、成長したな」と実感させてくれました。

いつもとは違う、こんなはずじゃないと思いながらも、知恵を出し合い、工夫をすれば、何かができるんだという貴重な経験は、皆さんが歩んでいく人生の大きな糧に必ずなると信じています。一中での「学び」を礎に、持続発展可能な社会を形成する担い手となってください。

卒業に際して、次の言葉を贈ります。論語の有名な一説です。「知者は惑わず、仁者は憂えず、勇者は懼れず」です。「知識を持ち、知恵のある人は、道理をわきまえているので問題にぶつかっても迷うことはない。思いやりの心を持ち、徳のある人は心がしっかりしていて、あれやこれやと心配することがない。勇気を持ち、決断力に富んでいる人は、恐れるところがない。」という意味です。

皆さんは、自分を大切にすること、人を大切にすること、つながりを大切にすること、命を大切にすること、そして、学び続けることの大切さを身に付けました。本校で学んだことに「自信」をもって、道理をわきまえ、しっかりとした心持ちで、強い気持ちを持って人生を切り拓いていきましょう。

皆さんの将来が熱く、光り輝くものとなることを心よりお祈り申しあげ、以上、式辞といたします。

令和四年三月十一日

大阪市立住吉第一中学校 校長 茨 木 久 治